

大和高田市地域公共交通活性化協議会 会議録

①会議名	第6回大和高田市地域公共交通活性化協議会
②開催日時	平成24年12月4日(火) 10:00～
③開催場所	中和消防広域組合高田消防署2階 大会議室
④議題	(議事事項) (1) バス利用者アンケート調査結果概要 (2) OD調査結果概要 (3) 変更に向けた課題と対応 (4) きぼう号路線変更案について (5) その他課題への対応 (6) 検討スケジュール
⑤出席委員	別紙
⑥事務局	市民部まちづくり振興室自治振興課 仲田課長、下村課長補佐

協議経過および協議内容	
(事務局)	ただ今より第6回大和高田市地域公共交通活性化協議会を開催致します。 ※配席図の確認
(副市長)	おはようございます。本日は第6回大和高田市地域公共交通活性化協議会に、年末の大変忙しい中ご出席頂き、ありがとうございます。前々からの課題になっていた、バス利用者の皆さんへのアンケート調査、起点終点乗降客数等の調査も併せて、調査をして頂いております。その分析をもとに、23年度、7つの主要な課題がございます。その課題にどう対応していくのかという事と、新たな路線の編成に向け、協議を深めて頂くような段階になっているかと思っております。どうかその点、皆様ご審議頂きますようお願い申し上げます。よろしくお願い致します。
(事務局)	ありがとうございます。 ※資料の確認
(市民部長)	それでは協議会の議長を務めさせていただきます、市民部の伊東です。よろしく申し上げます。今日の議案につきましては、6議案ございます。まず(1)～(3)議案を一括して説明・質問を頂き、ご意見を頂きたいと思っております。また(4)～(6)につきましても一括で進めさせて頂いて、ご意見を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。それではまず、(1)バス利用者アンケート調査結果概要、(2)OD調

協議経過および協議内容	
	<p>査結果概要、(3)変更に向けた課題と対応について、事務局のほうから説明をして頂きます。よろしくお願ひします。</p> <p>※事務局から説明</p>
(市民部長)	<p>議案(1)～(3)、p1～p18について、何かご質問ございませんか。</p>
(委員)	<p>県の地域デザイン推進課です。</p> <p>地域デザイン推進課ということで、まちなかの活性化の観点から少し見させてもらって、中心市街地部分での運行回数や環状運行するという話の中で、我々としては現状に対して中心市街地部のバスの密度を増やして頂きたいという思いを持っていますが、p14の「車体の大きさの検討」で、「需要規模にも左右するが、中心市街地を回る車体は以下のような少し小さめの車体を利用する…」ということで、現行2台で走っていますが、3台目を追加するという事も視野に入れて検討する、ということでしょうか。</p>
(事務局)	<p>アンケートの結果によるところもあるが、現行としては、あくまでも2台を考えている。3台目での運行も協議会の中では提示させて頂くという形になっております。基本は2台の中で、より効率化を狙う、という形で考えていきたいので、ご理解をお願いしたい。</p>
(市民部長)	<p>他にございませんか。</p>
(委員)	<p>奈良交通でございます。</p> <p>お世話になっております。質問と若干意見がございます。まず、今出ました車の大きさにつきまして、具体的に運行はグリーンナンバーで運行しておりますが、基本的に私共の認識では、グリーンナンバーの路線バスの一番小さな車両というのが、ポンチョといひまして、ここにある路線バスの小型バスというだいたいこういうものをイメージしたようなバスになる、と認識しております。</p> <p>あと特例として、3番のワゴンタイプの車があります。これはトヨタのハイエースだと思ひますが、この車両につきましても、使っているところは他市でもございますが、おそらく自家用として、あるいは運行された場合のお値段かなと思ひます。例えば、乗合バスのように、頻繁に乗降のためにドアを開け閉めする、ということがあると、いろんな部分の補強等々が必要になり、機器類も必要になりまして、あと数百万円値段が上がると思ひますので、その辺は少し確認がいたると思ひます。</p> <p>それから、p15の「⑤課題5への対応」について、運行間隔への配慮</p>

協議経過および協議内容

	<p>ということで、基本的には手前共の路線バス等の運行時間の近接を配慮頂くという内容ですが、併せて、今後この計画で、ご利用の範囲で申しますと、東中、高田市駅から近鉄高田駅間の本数を増やそうという論議になるのかなと思っていますが、最低でも運賃の調整をして頂きたいと思います。例えば、高田市から高田駅間は、一市一まちづくりでも出ていたように、最低の賃金は 180 円ですし、そこを越えると 210 円といった運賃があるので、ここについては運賃調整の必要ということで、課題に入れて頂きたいと思います。</p> <p>P17 でバス停のイスの設置という項目があります。バス停にイスが置いてあるところもありますが、高田市の中で確認はできておりませんが、通常はどこかの業者が勝手に置いてあることが多くて、これは道路占用を一切受けていないものと想像ですが思います。手前共としても歩道上に置いていても、よそ様のものなので撤去もできない、という状況なので、バス停のイスについては、いろいろ検討が必要かと思っています。</p>
(市民部長)	<p>ありがとうございました。どうぞ。</p>
(事務局)	<p>検討の中では、既存のバスだけではいけない。協議会の中で議論されると思う。ここでいう運行事業者ですが、現状は奈良交通さんですが、今の協議会の中では、いったん白紙という状態で、その中で運行事業者を決定して、調整をさせていただきたい。</p> <p>2 つめの運賃の調整についても、路線バスを含めた運行事業者との調整や配慮が必要となる。</p> <p>3 点目のバス停のベンチについては、実際に市民のほうでも、ベンチの要請があり、市の担当課にも来ており、可能な範囲で、市や県の土木の方と、占用許可のこともあるので、より満足度が高く、乗降が多い所につきましても検討を考えたい。</p>
(委員)	<p>車ですが、4 条免許として運行する場合は、いろんなことがありますので、この値段では買えませんよ、ということをご参考までに申し上げただけですので、よろしくお願いします。</p>
(事務局)	<p>ちょっと補足させて頂きたいのですが、ご指摘のようにバスの値段というのはなかなか調べられなくて、各事業者さんと自動車会社さんとのやり取りで値段は決められているようで、今回資料に載せた値段というものは、トヨタ自動車と日野自動車のホームページから参考にさせて頂いて、実際にバスに、運賃箱とか行き先表示板等が付いてきますので、それが無い状態で記載したことは、訂正、補足させて頂きたいと思います。</p>

協議経過および協議内容

<p>(市民部長)</p>	<p>他にご質問ございませんか。</p>
<p>(副市長)</p>	<p>今、奈良交通さんから教えてもらって、改めてそこに注目していますが、いわゆるグリーンナンバーを使えるバスということで、現状のバスのクラスがあつてというお話があつたのですが、グリーンナンバーというのは、有料で運行するナンバーですよ。そうすると、2番目のマイクロバスタイプぐらいの大きさが、有料運行で対応するときには、大きさとして導入できるのかどうか重要な問題となる。そういう点を、十分、事務局で把握してほしい。</p> <p>グリーンナンバーを前提で考える場合で、この小型のバスを使って、中心市街地を回れるか、というのは、車両としては、かかるコストも違うので、そこは充分におさえて欲しいと思う。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>地域デザイン推進課です。</p> <p>先ほどの奈良交通さんの話も踏まえてですが、中心市街地のバスの密度を増やそうと思うと、きぼう号だけではなく、既存の奈良交通さんの路線も含めて、トータルとして便数が増えるというか、回す必要があると思うが、その中で今、運賃の調整という話がありましたが、きぼう号が仮に今は100円ですが、奈良交通さんが180円や210円という中で、その辺が例えば、奈良交通さんも中心市街地を設定する範囲は、乗る方にとっては、100円なり、そういうのを設定するとしたときに、市で補助金や調整といった手法も、一体として考えるならば、今後はそういう検討も必要になってくるのかなという、ご意見だけ、提案といいますか、させて頂きたい。</p>
<p>(市民部長)</p>	<p>他にごございませんか。もしなければ、次の議案に移りたいと思います。それでは(4)～(6)について、事務局からご説明よろしくお願ひします。</p> <p>※事務局から説明</p> <p>ありがとうございました。それでは議事(4)～(6)、p19～p30について、特に今事務局から p24 の運行ダイヤの検討の中で、中心市街地の運行を確保するのか、郊外からの移動を重点にするのか、ということも含め、皆さん、ご意見を頂きたいと思います。よろしくお願ひ致します。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>会議所の日下です。</p> <p>今事務局から出ました、p24 の中心市街地を重点にするのか、郊外か</p>

協議経過および協議内容

らの移動を重点にするのか、こういう形で各委員に決めて頂きたい、という話でしたが、これはなかなか、決めるのは非常に難しいと思います。中心市街地を重点に置いてしまうと、郊外から来る人はバスの回数が減り、中心市街地を回ると言っているが、その辺の考え方が違って、10人いれば10人が違うと思うので、中心市街地を重点か、郊外を重点か、こんな話を決めるのは非常に難しい。

事務局として、アンケートをとって、市民の利用されている方々がこういうものを望んでいるという形であれば、それに基づいて、こういう形を作ったという方向性を出さないと、今、この会議で、中心市街地に重点を置くのか、郊外に重点を置くのかと聞いても、私なら郊外に重点を置いて欲しい、中心市街地の方は中心市街地に重点を置いて欲しいとなり、100人居れば100人違うので、事務局としては、今アンケートをとりました、利用されている方々はこういうことを望んでおられます、市として、県の協議もしないといけないし、奈良交通の協議もいるだろうし、警察の協議もいると思いますが、この方向で行かせて下さいという形を出してもらわないと、いろんな意見を聞くと、それぞれ違うのではないかと。この場で決めて下さい、と言われても決まらないと思う。

3台は論外だが、私は田舎のほうから来る、年寄りの方々が利用される回数が減ってくるようなことにもなっているの、私は中心市街地よりも郊外から来られる方々、利用されている方々はお年寄りが多いので、病院やさくら荘に行く人にできるだけ利便を図ってほしい。しかし、考え方によっては、中心市街地に重点を置いてほしい、という意見もあると思う。

私自身は、アンケートをとって、利用されている方々は、これを望んでおられるので、こういう方向でいきたいと思いますが、いかがですか、という形を出して頂き、それによって論議をしていくほうがいいと思う。どちらに重点を置くのか決めてほしい、というのは、ちょっと決まらないのでは、と思う。

(副市長)

開始時間についてもどうかということだが、ちょっと中途半端になる。早く回ってもらったほうが良いだろうし、それは現実的にはどうかと思っても、プランとしては、それもある。7時半からの運行もいいと思う。

ただ、市立病院に沿った運行となっはいるが、まったく初診で入っていく人もいるが、大半は慢性疾患の高齢者が予約制をとっていると思うが、その辺を把握して、時間の設定にひとつのヒントを出して行くべきかと思うのですが。何が何でも、一番先に診察券を出して、だいたい高齢者の方は慢性疾患なので、ゆったり時間に合わせて行ける。その辺の実情を把握してほしい。先ほど日下さんがお

協議経過および協議内容

	<p>っしやったことはよく分かる。それと、ここの説明で、郊外型の人が5回とか6回というのは、本当に8回運行しているものが、間違いなくこれで回数が減っているのか。その解説も、もう少し詳しくしてほしい。</p> <p>逆に、回数が減っているけど、概ね中心地の人達のニーズに即せば、中心にさえ行ってくれたほうが、利便性が、今までより1.5倍も高まると思うので、もう少し細かい分析が必要だと思う。どちらかを選んで下さい、というのは大変だと思います。</p> <p>専務もおっしゃった中では郊外の部分で未だ空白地帯がある。その郊外の人のコアなところの回数が減りつつ、その空白部分を、どう行くのか、現実論がまだない。だから、専務が言われたように、尚更、当面これから継続する議論のたたき台を、このように考えており、それはアンケート調査、市民ニーズに基づいている。とりあえずたたき台としては考えていると。それをもとに、そのままいくのか、いろいろ協議して、変更や改善すべきところは、していくのか。そういう出し方をしないと大変だと思う。各委員のご意見も伺ってくれたら良いと思います。</p>
(市民部長)	<p>会長や委員からの意見がありましたが、他にご意見ございませんか。</p>
(委員)	<p>県の道路交通環境課の竹林と申します。</p> <p>ご意見がありましたように、本当にこれだけ見てしまうと運行本数が減っているのでは、というお話になってしまう。単純に、運行本数を確保しようとすれば、ぐるぐる回るのが一番明らかですが、そこでポイントとなってくるのが、結局ぐるぐる回っているのが、時間がかかり、使い勝手が良くないというところなので、そこがどう改善するのかを、お示し頂かないと、なかなか分かりにくい。具体的に言うと、例えば、あるバス停から、一番需要の多い、さくら荘に今は何分かかっているけど、時間は大幅に短縮します、とか、場合によっては乗り換えが生じるかもしれないけど、時間は大幅に短縮され、その場合は乗り換えのプランも併せてお示しすることになると思いますが、人数だけの話でいくと、何でわざわざ悪くなる計画をやるのか、ということにしか見えないので、使い勝手や利用者の立場で、使い勝手として、これぐらい時間が短縮するというのをお示し頂ければ。</p> <p>作業的には、バス停が縦横に表があって、今のダイヤに基づく時間があるので、40分かかっているものが30分になる、2つの表をエクセルで引き算すれば、このバス停とこのバス停、この辺りのエリアは大幅に時間短縮できる、逆にこの辺りは増えてしまうかもしれない、ここは乗り換えが生じてしまう、という一覧表が出来ると思う</p>

協議経過および協議内容

ので、そういったものをお示し頂く。そういった、何が利用者の方にとってメリットなのかを、お示し頂かないと、ちょっと分かりにくいと思います。

もうひとつが、これの、検討のベースになるのが、先ほど全体のご説明であった、p10のOD調査の結果概要のところ、中心部と北西部の移動の関係を矢印で表して頂いている。この根拠は、p9の調査のようですが、この中で言えそうなのは、中心市街地から中心市街地の移動は分かるのですが、北西部から中心市街地への移動というのは、確かにこのデータからは多いのですが、もし北西部がさくら荘であれば、今のプランでは、さくら荘は中心市街地に入っておりますので、北西部から中心市街地というのが本当に多いのかどうか。この中でちょっと読み取りにくかったのですが、北西部から南部も多いという分析があり、ちょっとこの表からは、どこがどうなのかよく分からなかったのですが、そういった表現がp10にあります、これも北西部の目的地がさくら荘であれば、今の南部コースで、ご提案頂いているコースの中には、さくら荘も入っているかと思しますので、そこも含めて、どう考えていくのか。いずれにしても、こういったODであるとか、先ほど仰っていたように空白地のこともあるので、もし、可能であれば、パーソントリップ調査や今、バスを使っていない方々のご意見や移動も反映できるように、ということであれば、データ数が少なくて使いにくいかもしれませんが、そういったものを補完して、本当に利用者の方ベースで、どれがいいのかといった案をお示しの仕方として、単に各バス停の便数が減りますと言われてしまうと、なぜということになるので、便数は減るかもしれないけど、到着時間が短くなって、利用頂く中で、現実的なバスになるということで、今まで80分かかったものが40分で行けますとか、そういったところを、利用者ベースでどんなメリットがあるのかを上手くお示し頂くと、皆さんご判断頂きやすいのでは、と思います。

(市民部長)

他にございませんか。

(委員)

奈良交通です。

一般的なお話を少しさせて頂きたいと思います。p6にきぼう号の目的といいますか位置付けとして、高齢者の移動の確保のためということで、そういう観点に立って考えると、中心市街地の中でも、大和高田駅、高田市駅、市立病院、さくら荘などが、最も目的地として利用の多いところだと思います。そこで乗り継ぎが、中心市街地と市南部という分け方をすると、その中で乗り継ぎが発生して、当然、いろいろな検討の方法があるかもしれませんが、通常では乗り継ぎ

協議経過および協議内容

<p>(事務局)</p>	<p>をすると運賃がそれぞれに発生することになると思います。お年寄りの皆さんが、なかなか、乗り継ぎを好んでいらっしゃらない、というのが経験上ありますので、その辺も検討の課題として、考えて頂ければ、と思います。</p> <p>p24 の事務局案として、中心市街地に重点を置くという形か、アンケート調査等により、2 番目にある郊外からの移動を重点的に、という形で事務局は思っていたのですが、事務局としては、郊外からの移動を重点とした形で、検討をさせて頂きたいと思っております。それと、p25 にある運行開始時刻だけを決めることでしたが、各委員さんのご意見を踏まえて、検討させて頂くという形で、事務局案という形になっていますが、これでは非常に分かりにくいし、お示しの仕方が苦しいところがあったので、検討させて頂き、今のご意見を頂きながら、再度分かりやすく検討させて頂く、見せ方をさせて頂きたい。</p> <p>とりあえず、運行ダイヤの検討につきましては、p24 の郊外からの移動に中心を置く形でダイヤの検討を行う。ここだけは、何としても今日お決め頂きたい。事務局としては、2 番目の郊外からの移動に重点を置いた形での検討を行い、それに対してご意見をいただいたことを真摯に受け止め、早い時期 2 月までの時期に、また見て頂くような資料を送付させて頂く形で検討していきたいと思っておりますので、ご理解賜りたいと思います。よろしくお願い致します。</p>
<p>(市民部長)</p>	<p>今の事務局からの説明につきまして、次回、2 月の第 7 回協議会で、再度、事務局で提案させて頂いている部分について、ダイヤの検討もそれに付け加えて、第 7 回でお示しさせて頂きたくということですのでよろしいでしょうか。</p>
<p>(市民部長)</p>	<p>※異議なし</p> <p>そういう形で、事務局案を 7 回目の協議会でお示しさせて頂くということで、よろしいでしょうか。他にご意見はございませんか。もしなければ、これで第 6 回の協議会を終わりたいと思います。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>